

事務事業チェックシート

事務事業No **667** 事業名 **公民館管理事業**

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	3	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
基本方針	2	生涯にわたる学習活動の支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		公民館費	
	大事業		公民館事業	
	事項		公民館管理事業	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	生涯学習基本計画		
担当課・担当課長 (Tel)	中央公民館	生地 顕(435-1138)	
関連課	生涯学習課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	公民館の諸事業を円滑に実施する。	各公民館に非常勤の館長を置いて公民館事業を実施するとともに、公民館事業をチェックするための公民館運営審議会を開催する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		中央公民館の管理運営	中央公民館の管理運営	中央公民館の管理運営	中央公民館の管理運営	中央公民館の管理運営

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	4,265	4,214	4,346	1,394	5,202		5,202		5,202	
伸び率 (%)	-	-	1.9%		19.7%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	1,585	1,585	1,112	1,117		1,117		1,117	
	非常勤職員	1,004	1,004	168	168		168		168	
	小計	2,589	2,589	1,280	1,285		1,285		1,285	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	12	12	12		12		12		12	
一般財源(税等)	4,253	4,202	4,334	1,394	5,190		5,190		5,190	
所要人数	常勤職員	0.21	0.21	0.15	0.15		0.15		0.15	
	非常勤職員	0.48	0.48	0.08	0.08		0.08		0.08	
主な予算内訳	報酬3576、庁用器具856									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	非常勤館長数					年度目標値	43	43	43	43
						実績値	43	43		
	単位	全体目標値	43	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%		
						年度目標値	12	12	12	12
成果指標	審議会委員数					実績値	12	12		
						年度別達成度	100.0%	100.0%		
	単位	全体目標値	12	全体目標達成度	100.0%	年度目標値	2	2	2	2
						実績値	2	2		
審議会開催数					年度別達成度	100.0%	100.0%			
					年度目標値					
					実績値					
	単位	回	全体目標値	2	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公民館事業を円滑に実施できているため、現状維持が妥当である。
「見直し」 「改善」案	